

令和6年度 多可町当初予算

【2期町政の基調】	住みたい町・住み続けたい町へ ～地域創生を目指して～
【令和6年度】	子育てするならダントツ多可町 つながり育む生涯学習のまちづくり

■一般会計 ■ 重点事業

☆新規 ◎ (○) 継続・拡充・再編

(全般)

◎生涯学習まちづくりプラザ建設事業 (拡充) 2,347,750 千円

生涯学習に関する情報提供機能、学習スペースや交流機能、図書館機能などを備えた生涯学習を通じたまちづくりの拠点施設「多可町生涯学習まちづくりプラザ（愛称：あすみる）」を整備し、「生涯学び続けられるまち」の実現を目指します。

本年度は本体工事、備品購入をはじめ子育てふれあいセンター等関係施設の改修工事、オープンに向けた準備などを行います。

◎統合中学校開校準備委員会の運営 (継続) 2,961 千円

◎統合中学校整備事業 (拡充) 1,536,490 千円

生徒数が減少する中、3つの中学校を統合し適切な学校規模を維持することにより充実した学習環境を提供していきます。

本年度は、校歌の制作やPTA部会の立ち上げを行い、学校統合に向けた準備をさらに進めるとともに、本体工事に着手します。

◎新ごみ処理施設整備事業 (継続) 199,315 千円

豊かな自然環境を守り、町民が健康で文化的な生活を営むため、適切なごみ処理を行い、ごみの減量と資源循環を進めます。

1市1町の新たなごみ処理施設整備に係る本体工事や工事監理業務などの負担金となります。

◎道路新設改良事業 (拡充) 124,600 千円

経済、物流をはじめとする近隣市町との交流促進道路や、日常生活と密接した道路を新設改良整備することで、町民皆さんの利便性向上と安全確保に努めます。

また、生涯学習まちづくりプラザのオープンや統合中学校の開校に向けて関連道路の整備を行います。

◎八千代コミュニティプラザ空調設備改修事業（拡充） **94,000 千円**

老朽化が進んでいる空調設備の改修を行い、快適に利用していただける環境整備を進めます。本年度は設備更新工事を行います。

☆CATV番組送出制御システム更新事業（新規） **68,530 千円**

たかテレビの番組送出制御システムの更新を行います。

☆ラベンダーパーク大規模改修事業（新規） **45,000 千円**

屋根及び外壁の改修、空調設備の更新により、快適にご利用いただける環境を整備し、地域の観光の活性化を図ります。

☆公開型GIS導入事業（新規） **44,834 千円**

インフラ情報や行政情報を公開型GISとして構築し、データ利用者の利便性を向上します。加えて、上下水道の管路情報を公開型GISに統合します。

☆給付金・定額減税一体支援事業（新規） **196,205 千円**

令和6年度の税制改正による定額減税の実施とあわせて、低所得者及び定額減税を補足する一連の給付を行うことで、物価高により厳しい状況にある生活者・事業者の支援を行います。

（子育て関連）

◎乳幼児等福祉医療助成事業【町単独分】（継続） **15,084 千円**

乳幼児等（0歳児～小学3年生まで）に係る医療費について、県基準の自己負担を町が独自で助成することで無料化を実現し、福祉の増進を図ります。

受給対象者に係る所得制限を無くし、支援の対象を広げています。

※受給対象者：町内に住所を有する乳幼児等の保護者（所得制限なし）

◎こども福祉医療助成事業【町単独分】（継続） **31,290 千円**

こども（小学4年生～高校3年生まで）に係る医療費について、県基準の自己負担を町が独自で助成することで無料化を実現し、福祉の増進を図ります。

対象となるこどもを高校3年生にまで拡大し、所得制限もなくすことにより支援の対象を広げています。

※受給対象者：町内に住所を有するこどもの保護者（所得制限なし）

◎在宅等育児手当（継続） **8,040 千円**

満1歳から満3歳になった年度末までの乳幼児を日中在宅で育児されている保護

者等に月額 1 万円を助成し、家庭での育児に対して支援を行い、保護者が希望する子育てのあり方の選択肢を広げるとともに、保育と在宅育児の子育てを地域全体で支援していきます。

◎奨学金（ハートフル学業支援金）事業（継続） **4,320 千円**

高等学校に在学する生徒のうち経済的理由によって修学困難な生徒に対し、教科用図書購入等に必要となる学業支援金（月 6,000 円）を給付します。

◎小学校入学あったか祝金事業（継続） **5,000 千円**

次世代を担う子どもたちの健やかで生き生きとした成長を応援するとともに子育てに係る経済的支援を図るため、小学校入学時にお祝い金（5 万円）を贈ります。

◎白川良一高校入学支援金事業（継続） **2,080 千円**

高等学校に進学する生徒のうち経済的理由によって修学困難な生徒に対し、入学時に必要となる費用の一部（8 万円）を助成し、進学を支援します。白川教育生活支援基金を活用して実施します。

◎スクールラブ等による不登校支援（拡充） **11,631 千円**

スクールラブを各中学校に加え、小学校の一部にも配置し不登校支援の強化を図ります。

また、教育支援センター（ほのぼの教室）をはじめ、フリースクールと連携するなど、多様な居場所を確保します。

◎GIGAスクール推進事業（拡充） **18,390 千円**

ICT 支援員及び GIGA スクールサポーターを引き続き配置し、1 人 1 台端末をはじめとした ICT を活用した学習活動を促進するとともに、不登校児童生徒や病気療養児等への学習指導にも積極的に活用します。また、ネットモラル教材を活用し、安心して情報社会で活動を行うために必要な情報モラルの定着を図ります。

さらに、予備機を購入することで 1 人 1 台コンピュータの破損に備えます。

◎学習支援員等の配置による学力向上事業（継続） **11,530 千円**

全ての小学校に、抽象的・論理的な思考を必要とする学習が一層増加し、躓きやすいとされる小学 3 年生を対象として「学習支援員」を配置し、チームティーチングなど学力向上に向けた授業支援を行います。